令和5年度 工事検査における主な指摘事項について

§ I. 土木工事

1. 施工管理に関すること

(1) 工事実績情報サービス (CORINS: コリンズ) への登録

□リンズの登録(変更時含む)を期限内にしていない。

(2) 施工計画書

- ∘標準的な施工方法を記載していて、本現場に即した施工内容になっていない。
- 。出来形・品質管理計画に、管理方法の記述が不足している。

(3) 施工体制

- 工事現場に掲示が必要な標識類が不足している。または、標識類の内容が写真で確認できない。〔必要とする標識類〕
 - ①元請業者の建設業の許可票
 - ② 労災保険関係成立票
 - ③施丁体系図(下請がある場合)
 - ④建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場標識
 - ⑤緊急時連絡表(最寄りの病院までの経路図とセット)
 - ⑥再生資源利用(促進)計画書(対象工事の場合)
 - ⑦作業主任者
- 。下請契約した業者の施工体制台帳、契約書などが提出されていない。
- 施丁体系図が、各契約した業者の施丁分担関係が分かる系統図になっていない。
- 。元請の作業員名簿や下請契約した業者の作業員名簿が提出されていない。

(4) 建設副産物

- 。「建設廃棄物処理計画書」を提出していない。
- 建設廃棄物処理計画書に収集運搬業者および排出処分場の許可証の写しを添付していない。
- 。建設リサイクル法対象工事および資源有効利用促進法に定められた工事として、工事着手前に再生資源利用(促進)計画書を提出していない。また、COBRIS システムで出力した「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」をセットで提出していない。
- 。再生資源利用(促進)計画書・実施書の記載内容に誤りやもれがある。

(5) 安全管理

- 。安全・訓練等活動報告書を期限内に提出していない。
- バックホウによる二次製品吊り込みの場合に必要なクレーン機能付を確認できる写真または資料がない。

(6) 着工前測量及び成果

∘ 測量標(仮BM)の管理に必要な背景を入れた遠景写真と近景写真がない。

(7) 各種書類

- 契約図書に明示した第三者賠償責任保険および法定外の労災保険の加入が確認できる資料が提出されていない。または、証券などの写しを提出しているが、丁事中に保険期間が失効している。
- ・社内検査が履行されていない。または、社内検査が履行されているが、社内検査合格書に数量対比表が添付されていない。
- 。特記仕様書で求めた事前・事後(地下埋設物調査、上空調査、近接建物の影響調査、官民境界の確認など)の調査の報告書がない。

2. 出来形管理に関すること

(1) 出来高数量総括表の充実度

。出来高数量総括表を提出しているが、契約工種の数量の一部が記入されていない。

(2) 出来形管理総括表の充実度

- 出来形管理総括表において、実施する管理項目に不足がある。
- 。出来形管理総括表の一部の項目で、規格値が県の手引きと整合していないものがある。

(3) 出来形管理表(図表含む)の充実度

。一部の工種において、出来形管理を行う測点ごとに、設計値、実測値およびその差を一覧表示した「出来形管理図表」を提出していない。または、管理していない工種がある。

(4) 出来形管理写真の充実度

- ∘ 一部の工種において、不可視部の写真がない。
- 各種工程における一連の施工状況が分かる写真が撮られていない。

(5) 出来形測定への配慮

- ∘ 区画線工の出来形管理展開図に、テストピースの採取位置を記入していない。
- ∘ 舗装工の出来形管理展開図に、コアの採取位置を記入していない。
- 測点、測線、設計値、実測値などを出来形図に記入していない。または、正確に記入していない。
- ∘ 舗装などの「展開図」の辺長が、現場の実測数値と一致しない。

3. 品質管理に関すること

(1) 品質管理

∘現場打ちコンクリート打設時において、スランプ、空気量などの測定がされていない。

(2) 材料承認願

- 材料承認願に、設計計上した材料がそろっていない。
- ・土・石材などの新材の使用承認を受ける場合に必要な「岩石採取計画認可書」の写しを添付していない。
- 鋼材の品質を証明するミルシートを提出していない。

(3) 各種試験成績

- 舗装や路盤材に使用した材料の基準密度、最大乾燥密度が、材料承認を受けた時のものと一致しない。
- 材料検収の管理写真が不足している。

4. 各種工事に関すること

(1) 土工

- 。機械床掘後の基面整正の状況が確認できる写真がない。
- ∘ 埋戻工において、層厚の計尺写真、各層毎の締固め状況が分かる写真がない。
- 。建設発生土処分地計画(確認)書に記載している処分先に搬入したことが確認できる写真がない。

(2) 構造物取壊工

- 。施工状況、対象物の取壊し寸法が分かる写真がない。
- 。アスファルト殻やコンクリート殻をダンプに積込む際、バックホウのバケットに収容できるサイズに小割しないまま積込みをしている。
- 。産業廃棄物の処理状況(積込みと処理施設搬入)が分かる写真がない。

(3) 現場打コンクリート構造物

- 鉄筋組立後の、ピッチ、かぶり、重ね継手長が確認できる写真がない。
- ∘ コンクリートの打設や、バイブレーターの施工状況写真を撮っていない。
- ・養生マットなどを用いた養生状況の写真が撮られていない。
- ○目地・止水板・吸出防止材が適正に設置されているのが写真で確認できない。

(4) ブロック積

- ・胴込・裏込コンクリートの打設や、バイブレーターの使用、養生状況が分かる写真がない。
- ∘ コンクリートブロック積工において、B試験が実施されていない。

(5) アンカーエ・ロックボルトエ・鉄筋挿入工

○ 差し筋アンカー等の打ち込み(削孔)長が写真で確認できない。

(6) コンクリート二次製品

- 基礎材や敷モルタル材が適正に施工されているか写真で確認でない。
- 均しコンクリートやインバートコンクリートを適正に施工しているのが写真で確認できない。
- ボルト連結タイプのコンクリート二次製品(擁壁、側溝など)の施工状況において、ボルト取付け、切欠穴のモルタル充填状況が確認できる写真がない。
- ∘ ボックスカルバート据付工において、P C鋼棒の緊張力の管理がない。

(7) 地盤改良・安定処理工

。浅層混合処理工法による地盤改良の工程ごとの施工状況(改良範囲の明示、改良深度の確認、セメント撒布状況など)や、固化材の使用数量が確認できる空袋検収写真がない。

(8) 舗装工

- 路盤の厚みや施工幅を確認できる写真がない。
- 下層路盤工の品質管理試験項目のプルーフローリングを実施していない。
- ▽アスファルト合材の温度管理(初転圧前、交通開放時)が分かる写真がない。
- ∘ 出来形管理コアの採取位置が分かる写真や、コアせん断模様が確認できる写真がない。
- ▽アスファルト乳剤散布において、散布が不十分な箇所が見られる。
- 。隅々まで丁寧に転圧されていない。
- 複数層の舗装施工において、打ち継ぎ目の位置をずらしていることが写真で確認できない。

(9) 薄層カラー舗装工(すべり止め舗装、樹脂系舗装含む)

。施工状況に関する一連の管理写真がない。

(10) 区画線工

- ∘ 塗料、ガラスビーズおよびプライマーの使用した数量が確認できる空袋・空缶の管理写真がない。
- ・使用塗料の使用前の攪拌状況や、加熱温度が確認できる写真がない。
- 。厚みや幅の出来形管理がされていない。

(II) 路床改良工(Fe 石灰処理等)

。 改良の深さや幅が写真で確認できない。

(12) 道路安全施設。道路付属施設

各種施設を適切に施工していることが確認できる写真がない。

(13) 鋼構造物 (鋼橋含む)

- ボルトの固定にあたり、締付トルクの管理記録がない。
- ∘工場製作後の出来形計測において外形寸法の一部、鋼材厚みの計測写真がない。

(14) 仮締切工・仮設矢板工・仮設防護柵工

- 。鋼矢板の継施工(溶接継手)が適正に行われたことが写真で確認できない。
- 。大型土のうの施工(設置撤去など)が適切に行われていることが写真で確認できない。

(15) 植栽工

- 。枝落し・小切り・除根など各段階の施工状況が写真で確認できない。
- 除根後の凹部を同等の材料で補修していることが、写真で確認できない。

(16) 機械·電気設備(水門、井堰、排水機場、照明等、下水道施設等)

- ∘ 材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書など(現場照合を含む)で確認できない。
- ◦材料・部品・機器そのものが良質であることが写真や現地で確認できない。

(17) 電気・電気通信

。単体品(材料・部品組立後)の設計図書との整合が確認できない。

(18) 上水工事

- ・土留め工において、矢板の根入長がわかる写真がない。また、矢板間隔に隙間や支保工が適切に施工されているかが写真で確認できない。
- 。 仕切弁、消火栓、止水栓などの弁栓室の基礎砕石の厚みや施工幅が写真で確認できない。
- ・埋戻において、締固めが適切な方法で施工されているか写真で確認できない。
- 管継手の接合が良好に行われていることが写真で確認できない。
- 割丁字取り出し及びポリエチレン管布設の場合、水圧試験を実施していることが写真で確認できない。
- 給水管の施工が適切に行われていることが写真で確認できない。

(19) 下水道工事(推進工、人孔)

。土留め工において、矢板の根入長がわかる写真がない。また、矢板間隔に隙間や支保工が適切に施工されているかが写真で確認できない。

(20) 薬液注入工

注入量、圧力などの施工管理が適正であることが写真や資料で確認できない。